

令和2年7月7日

令和2年第2回神奈川県議会定例会

厚生常任委員会報告資料

健康医療局

目 次

ページ

- 1 医療用防護マスクの買入れについて..... 1
- 2 「検査の神奈川モデル」について 2

1 医療用防護マスクの買入れについて

6月26日の厚生常任委員会において報告した医療用防護マスクの買入れについて、その後の状況を報告する。

(1) 経緯

日時	事項
4月16日	物品売買契約締結（納入期限：4月29日）
4月30日 5月7日	物品の納入
5月25日	第三者機関による納入物品の検査（性能及び評価試験）を実施
6月3日	第三者機関から検査結果書を受領 【検査結果概要】検査対象のサンプル8枚中、5枚がN95相当の機能を有していない
6月29日	・ 前回納入分を受注者が全量引き取り ・ 新たに50万枚が納入
6月30日	再度、第三者機関による納入物品の検査（性能及び評価試験）を実施
7月中旬	試験結果報告書受領の見込み

(2) 今後の対応

県が指定した期日（6月29日）までに越洋通商株式会社から新たな医療用防護マスクが納入されたことから、今後は、これらがN95相当の機能を有するの否かの検査結果を待って県の対応を決定する。

ア 再納入物品が性能を満たす場合

- ・ 履行完了
- ・ 履行遅滞に伴う違約金（1日につき契約金額×年2.6%）の徴収

イ 再納入物品が性能を満たさない場合

- ・ 契約解除
- ・ 売買代金の返還 131,500,000円
- ・ 契約解除に伴う違約金（契約金額×15%）の徴収 19,725,000円

2 「検査の神奈川モデル」について

保健所中心の検査体制から医療機関中心の検査体制への移行を県として支援し、長期的には現在の新型コロナウイルス対応に留まらない、県内感染症検査能力基盤を強化する「検査の神奈川モデル」について報告する。

(1) 概要

現在、保健所が中心となっている検査体制について、今後、「検査の神奈川モデル」として、医療機関中心の検査体制に移行する。

「検査の神奈川モデル」展開に向けた支援策として、スマートアンプ法簡易パッケージ化の開発支援に加え、医療機関がPCR等検査機器を導入する場合の補助や臨床検査技師に対する研修を実施する。

(2) 効果

スマートアンプ法簡易パッケージ化により、約1時間で24検体が検査でき、検査スピードの大幅な増加が見込めることから、検査体制を飛躍的に拡充し、検査ニーズに的確に対応できる。

保健所は検査業務が軽減することになり、濃厚接触者の特定やクラスター対策等の感染拡大防止の業務に集中できる。

(3) 予算

当面は、既決予算（4月補正予算）の検査装置の購入費用である約1.5億円で対応する。

具体的には、新型コロナウイルス感染症集合検査場設置費の機器導入費（PCR自動検査装置）について、今年度内に供給がされないことが判明したため、この予算を活用し、「スマートアンプ法を活用した迅速検出法」の簡易パッケージ化した検査機器等の購入への補助に充てることとする。

この予算で不足する場合には、他の病院向けの予算の執行状況を勘案しながら、可能な限り、医療機関の要望に対応できるように工夫していく。

(4) 今後のスケジュール（予定）

令和2年7月 購入機器及び購入希望医療機関のとりまとめ

令和2年8月 医療機関への配布開始